

内容をご熟読ください



Owner's Guide
取扱説明書

純正キーレスでセキュリティをON。

KEYLESS

自動車盗難防止装置

純正キーレスエントリー連動モデル

310V

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

はじめに

この度はホーネットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願い致します。

本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お買い上げいただきましたセキュリティラウンジ/ホーネット取扱店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2017年4月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® valet® は、加藤電機株式会社および DEI Headquarters, Inc. の商標または登録商標です。
KATO-DENKI ドアトリガー® クリックトーン® ダイアグノスティック™ ハイセキュリティ解除™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
製品の説明	7
製品の説明	7
HORNET (ホーネット)とは	7
本書に出てくる主な用語の解説	7
梱包物をご確認ください	8
310V の梱包物	8
製品保証に関する大切なお願い	8
基本的な操作の仕方	9
リモコンのボタンについて	9
ホーネットを作動させる	9
ホーネットを解除する	10
パニックモード(強制サイレン)	11
ハイセキュリティ解除™	12
外部機器のコントロール	12
valet® mode (バレーモード)	13
ロングタームイベントヒストリー	14
強制解除	15
強制解除入力回数選択	15
ダイアグノスティック™ 機能	16
ゾーンID一覧	17
各センサーの特長	18
インスタントトリガー【ゾーン1】	18
ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン2】	18
ドアトリガー®【ゾーン3】	18
オプションセンサー【ゾーン4】	19
イグニッションONセンサー【ゾーン5】	19
機能設定	20
機能設定項目	20

その他の機能・特長	21
シングルトーンサイレン	21
ライトフラッシュ	21
パワーセーバーモード	21
レジューム機能	21
ソフトチャープ	21
エンジンスターター併用可能	22
NPC 機能(迷惑防止回路)	22
警告時ライトフラッシュ	22
トラブルシュート	23
故障かな?と思ったら	23
アフターサービスについて	24
アフターサービスについて	24
セキュリティラウンジあんしんサポートについて	24
保証書について	24
修理を依頼されるときは	24
お問い合わせ先・製品仕様	25
保証規定	26

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

警告

- エンジンルーム内にサイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行うと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



危険

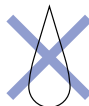
- DC12V 車両専用
24V 車両には装着できません。



使用上の注意

⚠ 注意

- 本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告、警報は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。



❗ 必ずお読みください

- 国産車限定
車両の純正キーレスリモコンでロック（施錠）/アンロック（開錠）した際に、ハザードランプが点滅する車両にのみ取り付けが可能です。
車両の機能によっては一部機能が使用できない場合があります。
車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行っておりません。
- ダブルガードショックセンサーは取り付け位置や車両の剛性等によって感度が大きく変わります。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。

製品の説明

製品の説明

HORNET（ホーネット）とは

HORNET は、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせる、盗難発生警報装置（カーセキュリティシステム）です。各種センサーにより車上荒しを効果的に抑制します。

また、別売の各種オプションと組み合わせることで防犯性、利便性をさらに拡張し、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

本書に出てくる主な用語の解説

警告／警報

HORNET が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

警告：

サイレンからの音 : ビッビッビ……

スモールライトの点滅 : 2回

警報：

サイレンからの音 : ビービービー……!!

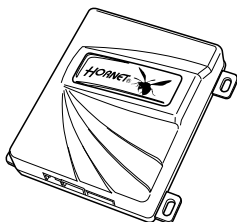
スモールライトの点滅 : サイレン鳴動中

確認音

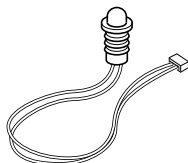
HORNET の各操作を行うたびに鳴るサイレンからの音を示します。また、システムの ON（作動）／OFF（解除）時に鳴る確認音をとくにクリックトーン（動作確認音）と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

梱包物をご確認ください

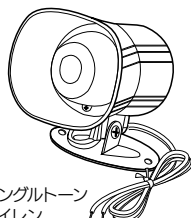
310Vの梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



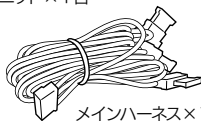
310Vメインユニット×1台



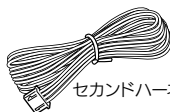
動作確認LED
(型式:8634)×1個



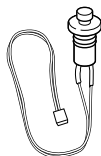
シングルトーン
サイレン
(型式:514S)×1個



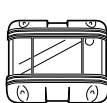
メインハーネス×1束



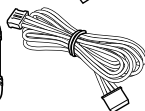
セカンドハーネス×1束



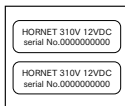
プログラムスイッチ×1個



ダブルガードショックセンサー(504D)
及びハーネス×各1個



シリアルシール×2枚



その他

取扱説明書×1冊、取付説明書×1冊、ホーネットステッカー×1シート
全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚、ダイオード×5本、保護テープ(大:1枚 小:2枚)

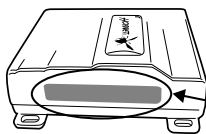
※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。

側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。

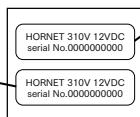
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品保証に関する大切なお願い

取付店様にてシリアルシールをメインユニットと保証書(取扱説明書の裏表紙)に貼付してください。



メインユニット



保証書

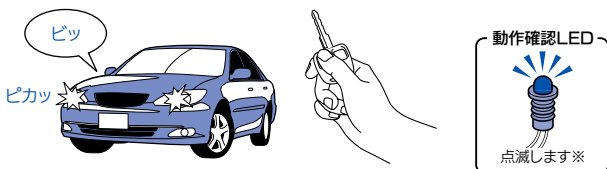
基本的な操作の仕方

リモコンのボタンについて

本製品の操作は、純正のキーレスエントリーリモコン(以下リモコン)によって行います。リモコンの種類によって操作方法や範囲が異なりますのでご注意ください。

ホーネットを作動させる

- 1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンのロックボタンを1回押して、ドアをロックします。
- 3 “ピッ”と1回クリックトーン[®]が鳴ってシステムがONになったことを知らせます。



※システム作動中には、動作確認LEDが点滅を続けます。

※システムをONにした際にクリックトーンが1回鳴った後、3秒後に再度鳴った場合には、システムをONにした時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.17)は動作確認LEDで確認してください。

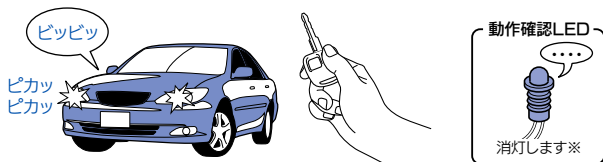
ヒント

機能設定(取付説明書参照)でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステムON/OFF時の確認音を鳴らさなくすることができます。

ハザードランプを点滅した状態ではシステムをON/OFFできない場合があります。

ホーネットを解除する

- 1 システム作動中、リモコンのアンロックボタンを1回押してドアをアンロックしてください。
- 2 クリックトーン® が2回“ビッビッ”と鳴ってシステムが OFF になったことを知らせます。



※システムを OFF にした際にクリックトーンが4回または5回鳴った場合には、システムが ON の間に何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン (P.17) は動作確認 LED で確認してください。



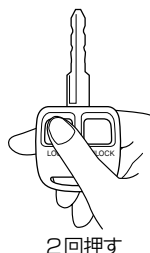
ヒント

- 機能設定 (取付説明書参照) でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステム ON / OFF 時の確認音を鳴らなくすることができます。
- ハザードランプを点滅した状態ではシステムを ON / OFF できない場合があります。

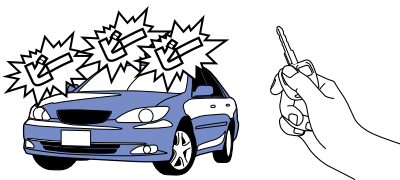
パニックモード(強制サイレン)

リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。
緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。
途中で警報を止めたい場合にはアンロックボタンを押してドアをアンロックしてください。
警報が止まりシステムが ON 状態になります。

1 リモコンのロックボタンを2回押します



2 強制的に警報を鳴らすことができます。



パニックモード

警報は設定した秒数鳴ります。(取付説明書参照)

- ※パニックモードによって最後まで警報が鳴りきった場合、システムは ON 状態となります。
- ※ロックボタンを押した時の動作が1回目と2回目で異なる車両では使用できません。
 - 例1：車両のドアがロックしている状態で、リモコンのロックボタンを押した時にシステムが ON にならない車両
 - 例2：リモコンのロックボタンを1回目に押した時にはハザードが点滅するが、2回目は点滅しない車両
- ※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンの場合、使用できません。

ハイセキュリティ解除™

警報が鳴っている最中にシステムを OFF にせずに、警報のみを止めることができます。システムが OFF 状態にならないため、システムを再度 ON にする必要がありません。

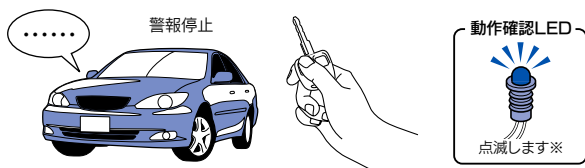
1 警報開始

システムが ON の時にセンサーが働くと警報が鳴り始めます。



2 ハイセキュリティ解除™

警報中にロックボタンを押すと警報のみが止まり引き続き ON 状態を続けます。



- ※何らかのセンサーが反応し、警報が鳴り始めると、動作確認 LED は反応したゾーンを示し始めます (P.17) が、ハイセキュリティ解除™を行うとメモリはリセットされ、通常の点滅に戻ります。
- ※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンでは使用できません。この場合、ハイセキュリティ解除にはならず、システムが OFF します。

外部機器のコントロール

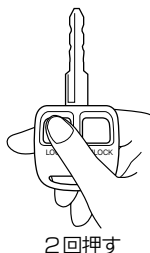
リモコンから外部機器のコントロールができます(チャンネル出力)。これにより、パワースライドドアやトランクオープナー、サンルーフ等のコントロールがリモコンで操作できます。

- トランクオープナーなど外部機器のコントロールを行うには別途オプションのご購入、取り付け等が必要となる場合があります。

1 コントロールの開始

リモコンのロックボタンを2回押します。

- ※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンの場合、使用できません。



基本的な操作の仕方

valet[®] mode (バレーモード)

バレーモードとはシステムが ON にならないようにするモードです。車検などで車両を預ける場合にセキュリティ機能が必要であれば、このモードに設定してください。

ヒント

- バレーモードは下記操作を行うたびに作動／解除が繰り返されます。
- 点灯した動作確認 LED は、一定時間 (60分) エンジンを始動しないと、バッテリーを保護するために消灯します。
- プッシュスタート式の車両の際、イグニッションキー ON の作業はプッシュスタートボタンを2回押す作業に置き換えて行ってください。

設定方法は以下の2通りです。

バレーモード作動／解除方法：プログラムスイッチを使用してバレーモードへの切り替えを行う場合

- 【ステップ1】イグニッションキーを ON にしてからすぐに OFF にします。
- 【ステップ2】ステップ1のあと10秒以内にプログラムスイッチを5秒間押し続けます。
- 【ステップ3】動作確認 LED の点灯状態を確認します。

※バレーモード作動：消灯→点灯
解除：点灯→消灯

ドアが開いた状態でリモコンが使用できる車両については下記の方法でもバレーモードの作動／解除が行えます。

- 【ステップ1】車のドアを開けます。(どのドアでも良いです)
- 【ステップ2】リモコンを利用してドアをロックします。
- 【ステップ3】2秒以内にリモコンを利用してドアをアンロックします。
- 【ステップ4】2秒以内にリモコンを利用してドアをロックします。
- 【ステップ5】動作確認 LED を確認します。

ロングタームイベントヒストリー

最新の警報履歴を、動作確認 LED の点滅によって過去6回までさかのぼって確認できます。

- 1 イグニッションキーが OFF の状態でプログラムスイッチを押し続けます。
- 2 イグニッションキーを ON にします。
- 3 プログラムスイッチを離します。
- 4 5秒以内にプログラムスイッチを押して離します。
- 5 新しい順に過去6回までさかのぼり、動作確認 LED の点滅回数で警報履歴を確認できます(ゾーン ID / P.17 参照)。
- 6 60秒経過するか、イグニッションキーを OFF にすると動作確認 LED は消灯します。



強制解除

ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED やクリックトーンによって、センサーが異常を検出して警報した場合にその原因をある程度特定することができます(ダイアグノスティック™ 機能)。

クリックトーンやライトフラッシュの回数により、発報の有無などの確認が行えます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行います(センサーレポート機能)。

操作	レポート内容	動作確認音	ライトフラッシュ
システムON	システムON	ビッ	1回
システムON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステムON	ビッ 約2~3秒後 ビッ	2回
システムOFF	システムOFF	ビッビッ	2回
システムOFF	警報が鳴った後にシステムOFF	ビッビッビッビッ	3回
システムOFF	NPCが働いている状態でシステムOFF	ビッビッビッビッビッ	3回

動作確認 LED の点滅回数により、センサーの反応状態の確認が行えます。

システムの状態	動作確認 LED の状態
システム作動中	通常点滅(1回点滅)
半ドアやセンサーが反応した状態でシステム ON	60秒間、反応しているゾーン ID 数点滅、その後通常点滅
警報中	反応したゾーン ID 数点滅
警報終了後	60秒間、反応したゾーン ID 数点滅 その後通常点滅
ハイセキュリティ解除時	通常点滅(1回点滅)
警報があった後にシステム OFF	最後に反応した2回分のゾーン ID 数を交互に点滅

ゾーン ID 一覧

各センサーやトリガーには、それぞれ固有のゾーン ID が割り当てられています。

ゾーンID	センサー/トリガー	反応内容
1	インスタントトリガー	オプションセンサーが反応
2	ダブルガードショックセンサー	強い衝撃が加えられた
3	ドアトリガー	ドアが開けられた反応
4	オプションセンサー	オプションセンサーが反応
5	イグニッションONセンサー	イグニッションがONになった



ヒント

ダイアグノスティック™ 機能のリセット

システム OFF 中にイグニッションキーを ON にするか、セキュリティを ON にするとリセットします。



注意

ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出した2回分のゾーンに対してレポートします。警報があったすべての原因がわかるものではありません。

各センサーの特長

インスタントトリガー【ゾーン1】

トランクが開けられたことを検出し、警報を鳴らして威嚇します。トランクに積載されたものを守るために有効です。

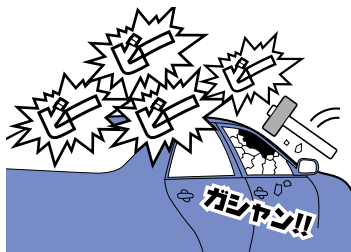
また、ボンネットが開けられたことを検出し、警報を鳴らすこともできます（車両によっては別途オプション「ピンスイッチ(8607)」が必要です）。

ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン2】

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる衝撃を強弱2段階で自動判別して、警告または警報を鳴らして威嚇するためのセンサーです。風などの「揺れ」にはまったく反応せず、瞬間的に加わる「衝撃」や「衝撃波」、「振動」のみを検出できます。

※衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（他車の走行振動、航空機の飛行時などから伝わる振動、台風その他）により微振動や衝撃波を検出して犯罪発生時以外にも警報が鳴る場合があります。センサーの特長をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。

※本センサーでは傷つけを防ぐことはできません。



ドアトリガー[®]【ゾーン3】

システム ON 時にドアを開けられたことを確実に検出し、警報を鳴らして威嚇します。



オプションセンサー【ゾーン4】

本製品には、様々なオプションセンサーを追加することができます(別売)。用途に応じてご利用ください。

取付可能なオプションセンサーの一例

ガラス割りに対して

- ・音感センサー (506T)

車内への侵入に対して

- ・超音波センサー (509U)

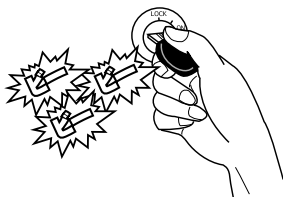
大きい車両への衝撃に対して

- ・ダブルガードショックセンサー (504D) ほか

イグニッション ON センサー【ゾーン5】

エンジン始動を感知するセンサーです。

システム ON 中に、エンジンをかけようとするすると警報を鳴らして威嚇します。



エンジンスターターと併用される場合は、ご利用できません。
機能設定にてシャントに変更してください(取扱説明書参照)。

機能設定項目 下線が初期設定

設定の変更は取付店へご依頼ください。

1 クリックトーン ON / OFF

システムのON時とOFF時の確認音の有/無を選択できます。

2 サイレンタイム 30秒 / 5 / 10 / 15秒

警報時間を選択できます。

3 イグニッション入力 センサー / シャント

イグニッションONの入力を異常としてとらえて警報を鳴らすか、エンジンスターターと判断して各センサーをスリープさせるかの選択ができます。

エンジンスターターと併用するときには、「シャント」に設定してください。

4 警告設定 警告音+ライトフラッシュ / ライトフラッシュ

2段階衝撃センサーやオプションセンサーが反応したときの警告を音とライトフラッシュから選択できます。

5 ドア開け時予備警告機能 ON / OFF

ドアを開けた時に即サイレン音ではなく、数回警告音を発した後、サイレン音を鳴らすかどうか選択できます。

※即サイレン音を鳴らして威嚇する場合は、設定をOFFにして使用します。

6 ドアトリガー[®] エラー音 ON / OFF

システムをONにしたときに、ドアが開いていることによって、センサーレポート機能を働かせるかどうかを選択できます。

残照灯の影響などにより、半ドアでない場合でもセンサーレポート機能が働いてしまう場合のみ、OFFにしてください。

7 強制解除入力回数 1 / 2 / 3 / 4 / 5

強制解除スイッチ入力回数を選択できます。

8 リアーム OFF / ON

セキュリティを解除（ディスアーム）したあと、30秒以内にドアを開ける、またはイグニッションをONにする（エンジンをかける）のどちらかが行われなかった場合、自動的にシステムを作動（アーム）します。

9 パニックモード パニックモード / チャンネル出力

パニックモードを使用するか、チャンネル出力を使用するかが選択できます。

10 イグニッションON中パニック ON / OFF

イグニッションON中にパニックモードが使用できるか、使用できないかを選択する事ができます。

設定を「ON」にした場合はイグニッションON中でもパニックモードになります。

設定を「OFF」にした場合はイグニッションON中にはパニックモードになりません。

※イグニッションON中でもキーレスが使える場合に限りです。

11 NPC ON / OFF

NPC機能(P.22)のON / OFFを選択できます。

※設定の変更は取付店へご依頼ください。



注意

ロックボタンとアンロックボタンが共有のリモコンでは、項目2サイレンタイム（10秒/15秒）、項目7強制解除入力回数（3/4/5）は選択できません。

その他の機能・特長

シングルトーンサイレン

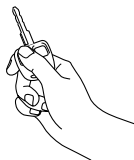
最大 128dB の大音量で撃退効果は抜群です。



ライトフラッシュ

システムの ON / OFF 時、警告時、警報時にクルマのスマールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

ピカッ



パワーセーバーモード

パレーモード時、約 1 時間イグニッションキーを ON にしないと動作確認 LED は消灯します。

動作確認 LED 消灯後、イグニッションキーを ON にして OFF にすると再度、動作確認 LED は点灯します。

レジューム機能

機能設定された内容をバックアップするため、万一電源が切断されてもシステムの ON / OFF やパレーモード等の設定内容が残っています。

例：警報中に電源の供給がなくなった。電源の供給が復帰したときに警報します。

ソフトチャープ

動作確認音や警告などは、警報よりも若干小さい音で行われます。

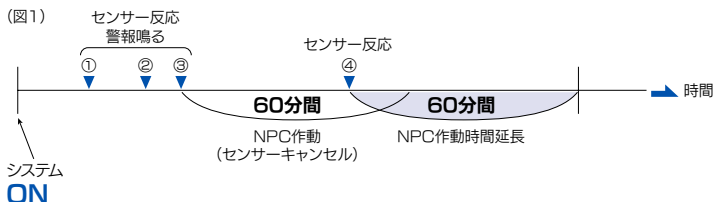
エンジンスターター併用可能

セキュリティ作動中に市販エンジンスターターをご利用いただくことができます。併用時は機能設定項目3 イグニッション入力 シャントに切り替えてください。イグニッション入力を感知すると、ドアトリガー以外のセンサーがスリープします。ターボタイマーは併用不可です。

NPC 機能(迷惑防止回路)

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

- ゾーン1/2/4のうち、同じセンサーが1時間以内に3回警報を鳴らした場合、3回目に警報を鳴らした時点から60分間そのセンサーをキャンセルします。
- NPC作動中、4回目に同じセンサーが反応した場合、その時点からさらに60分間NPC作動期間を延長します。(図1)
- 反応したセンサーに関わらず、8回センサーが反応し、警報を発報した場合は一度システムをOFF/ONしない限り、警報が鳴らなくなります。



ヒント

NPCをリセットするには？

システム OFF 後、再度セキュリティの「ON → OFF」操作を行うか、キーでイグニッションを ON の位置にします(エンジンをかけると自動的にリセットされます)。

警告時ライトフラッシュ

2段階衝撃センサーやオプションセンサーが反応した際の警告を光(ライトフラッシュ)のみで威嚇することができます。(取付説明書 「機能設定項目 4警告設定」参照)

トラブルシュート

故障かな？と思ったら

症状と原因	対 策
☆勝手に警報が鳴る 各センサーの感度が高すぎることや各センサーの固定が不十分、ということが考えられます。	ダイアグノスティック機能【ゾーン ID】(P.17)にて、どのセンサーが反応して警報が鳴ったのかわかります。センサーの感度を調整してください。
☆システムを ON した後、数秒後に「ビッ」と鳴る。 センサーレポート機能が働いていることが考えられます。	車両が半ドアの状態ですシステムを ON にすると、センサーレポート機能が働きます。ドアがすべて閉まっていることを確認し、再度システムを ON にしてください。
☆セキュリティが動作しない。 システムを ON にしてから5秒以上待っていないことが考えられます。	システムを ON にしてから5秒間は、センサーが働きません。システムを ON にしてから5秒以上経過してから、各センサーの確認をしてください。
NPC 機能 (P.22) が働いていることが考えられます	NPC 機能が働くと、各センサーが動作しなくなります。システムを OFF した後にキーでエンジンをかけると、NPC 機能は解除されます。
パレーモード (P.13) になっていることが考えられます。	パレーモードでは、各センサーは動作しません。パレーモード (P.13) を解除してください。
各センサーの感度が低く設定されていることが考えられます。	各センサーの感度を調整してください。
☆衝撃を与えても警報が鳴らない。 揺れには反応しにくい製品です。	車体を揺らすような衝撃ではなく、車体をたたく衝撃により反応します。

改善しない場合は、内容を取付店へご連絡の上、点検をご依頼ください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はお買い上げの日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用していただくサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
- ご登録いただきますと製品保証の延長や工賃代や製品代のサポートなどを受けることができます。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いいたします。詳しくは弊社HPよりご覧ください。 <http://www.security-lounge.com/anshinsupport>



保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中でも無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットと保証書にシリアルシールが貼付されているかお確かめください。

修理を依頼されるときは

- 説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P.23)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店にご相談ください。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例: ホーネット310V 5012204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのセキュリティラウンジまたはホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先・製品仕様

●製品に関するお問い合わせはこちらから

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

<http://www.kato-denki.com/support/index.html>



製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約2.0mA（動作確認LED含む）
●平均消費電流（警報時）	約1A
●サイレン音圧	最大約128dB
●使用周囲温度	約-40°C~+85°C
●メインユニット外形寸法	約103×68×34mm
●質量	約120g

《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口に直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書の無い場合には保証対象外(有償)となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はおお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたはホーネット取扱店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外(有償)となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品(電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど)の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10